

「日本一の都市型福祉を実現すること」「子供たちを育み、守ること」

困っている人に手を差し伸べる、これこそ長年福祉現場にいた私の信条であり、それは私の政治活動そのものであります。生きるとは、生活とは、悩むこと。幸せでいても、介護・保育・教育・病気・仕事・ストレス・貧困・争い・悪環境などに区民の皆さまは様々な悩みを抱えています。

2期目に入り、皆さまからのご相談も一年間で152件と5割近く急増し、生活に身近な地方議員としての職責をしっかりと果たしています。

また、東日本大震災を受けて初めて港区議会に設置された防災・エレベーター等対策特別委員会の初代委員長に就任、港区防災基本条例の制定に尽力いたしました。

港区議会だけにとどまらず、予算一兆円超、東京都民の高齢者130万人の医療を担う東京都後期高齢者広域医療連合議会の議員に当選、平成24年には同議会の議長に選出され、高齢者の安心を担う重責を果たしてきました。

私の区議会での提言は「日本一の都市型福祉を実現すること」「子供たちを育み、守ること」に尽きます。また、これまで保健福祉、総務、建設、区民文教とすべての常任委員会を歴任し、福祉分野だけではなく教育・まちづくり・スポーツ・環境分野など多方面にわたり積極的な提言をし、多くの施策を実現してまいりました。

これからも輝ける港区に住み、集い、働く区民の皆さまの悩みとともにありたい。

ここに区政報告第8号を発行いたします。



代表質疑にて

自由民主党 港区議会議員

池田こうじ

区政報告 第8号



池田こうじプロフィール

20代から福祉現場に従事、ケアマネージャー・特別養護老人ホーム施設長などを務め、港区あんしん介護センターを設立・運営。西麻布の特別養護老人ホームベルを準備責任者として設立。港区介護事業者協議会会長など歴任。虐待児など家庭に恵まれにくい子供たちのための児童養護施設の運営など高齢者・児童福祉現場を経て現在、港区議会議員2期目。

東京都後期高齢者広域医療連合議会議長。町会副会長・地区委員会理事・消防団班長など地域活動にも従事。港区立青南小、港区立三河台中（現六本木中）、都立小山台高校、同志社大学文学部哲学科、卒業。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程修了。自民党政経塾卒業。

昭和39年生まれ、家族、妻・長女・長男。

池田こうじ



区政報告についてのご意見、区政への要望等をお聞かせください

FAX 03-5549-4157
mail:info@ikedas55.com

港区議会自民党控室
港区芝公園1-5-25

P C 版 HP <http://www.ikedas55.com>
港区自民党 HP <http://www.minato-jimin.com/>



防災・エレベーター等対策特別委員会の委員長として

2012年10月13日発行

池田こうじ 議会語録

歳をとるほどに尊厳豊かにならなければ何の人生かと思う。
100歳になろうと希望がなければ人は生きてはいけない。それは私が特別養護老人ホームの施設長をしていたときから実感していたことだ。高齢者にとっての希望とは「生きてある尊厳」のことだ。
高齢者虐待は絶対にあってはならない。 (高齢者虐待について質疑)



今、問題がないから、今が大丈夫だからという理由で変革しないのは理由にならない。区民にとって今より良くなる施策であれば、区は具体的に検討すべきだ。区長は役人のトップではなく、区民から選ばれた政治家であり、しっかりと区民からの意見を施策に反映させて欲しい。何をやらないかではなく、区民のためにやれることは何かだ。好財政の港区は先進の取り組みができる。その政治ダイナミズムこそ港区が他自治体を牽引し、港区の未来を輝かせ、関心の薄い若者を区政に呼び込む契機ともなるはずだ。

(民意の反映について質疑)



私の質疑の多くは福祉に関すること・子供に関することです。福祉施策のあるべきスタンスは、バラマキではなく、手を差しのべるべきひとに手を差しのべることです。混迷する世相の中でこそ人間性の回復が問われています。例えば、それまで他人の手の介助で食事していた高齢者が優れた福祉用具食器を使うことで自分で食べれる。それで人間性が回復する一歩を踏み出せるのです。福祉は人間性の回復、行政が担う分野も幅広く、多様です。そして、こういう世相だからこそ子供たちに希望をもってもらいたい、と思うのです。子供こそ「まちの未来の光」だからです。

(代表質疑にて)

- 長時間待たされる病院内でのヘルパー介助は介護保険では認められない。区での負担を検討すべしと提案、「病院内での通院介助支援サービス」が事業化
- 港区でも増え続ける児童虐待の対策を迫り、子ども家庭支援センターの組織強化を実現、課長級管理職を置いて組織強化、諸機関の連携も強化
- 障害者児童の休暇中の居場所を作って欲しいと提言、夏休みと春休みに港区障害保健福祉センターにて事業化
- 公立学校校庭の全面芝生化を提言、麻布小学校にて実現。以降整備される校庭芝生化へ道筋
- 狭い校庭は事故が多いと「青南小学校第2校庭の整備」を推進、天然芝校庭が開設

これまでの提言と実現してきたこと

- 区中央部ドッグラン設置について強く要望、区長の「区立公園に加えて、芝公園などの都立公園やその他のオープンスペースの利用も視野に入れ、公園利用者、また周辺の皆さんとの合意を図りながら、ドッグランの設置を検討してまいります」との見解を引き出し実現へ前進
- マンションについて数々の提言。「高層マンション防災対策」が既存制度では相応しないことを指摘、「港区高層住宅の震災対策に関する基本方針」を策定。老朽マンションの改築支援などにも提言
- 発達障害は横断的な取り組みを進めるべきだと提言、庁内の組織を強化し発達支援担当を設置、発達支援センター機能を確立
- 六本木の繁華街の安全は既存の法令は改善しない。六本木ルールとして条例制定を提言
- 二輪車駐輪抜本対策構築と、蕎麦・クリーニング業など区内商店の駐禁の実態について把握、区として対応策の調査を提言
- 住民発意のまちづくり条例の活用促進について提言
- 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチンの助成を提言、実現